

第1回 北大阪急行線延伸技術検討会 要旨

1. 日 時

平成25年7月9日（火） 午後2時00分～午後4時00分

2. 場 所

大阪弥生会館（大阪市北区芝田2-4-53）

3. 出席者

（座 長）

- ・一般財団法人地域地盤環境研究所 代表理事 足立 紀尚

（構成員）

- ・一般財団法人災害科学研究所 理事長 松井 保
- ・京都大学大学院教授 木村 亮
- ・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部大阪支社長 深沢 成年
- ・大阪市交通局理事兼鉄道事業本部長 塩谷 智弘

（オブザーバー）

- ・大阪府都市整備部交通道路室都市交通課長 吉備 敏裕
- ・大阪府池田土木事務所長 大森 浩一
- ・箕面市地域創造部鉄道延伸・交通戦略統括監 柿谷武志
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄 健介
- ・北大阪急行電鉄株式会社取締役鉄道部部長 十合貴弘

以上、構成員5名及びオブザーバー5名全員出席

4. 議題

- （1）北大阪急行線延伸事業の概要について（報告）
- （2）平成24年度地盤調査結果及び計画ルートについて（報告）
- （3）追加地盤調査について
- （4）まとめ

5. 議事要旨

○北急延伸計画の概要について、平成30年くらいの開業を目指している。そのためかなり密度の高い検討を行っていただきたい。

○神戸層群の中に有機物混入層がある場合も確認されている。有機物混入層は課題になる可能性があるため、有機物混入層が存在することを前提として、それを識別できる人にボーリングデータを見てもらうことが必要である。

○(仮称)箕面船場駅周囲の地層が非常に複雑となっており、綿密な調査をお願いする。

○地層の不整合が非常に目立つ。弾性波探査の調査実施領域は、坊島断層の存在もあることから(仮称)新箕面駅の北側まで調査をしておく必要がある。重要な構造物を造るときに調査をしていない場合、課題となる可能性があるので丁寧な調査をしておくこと。

○有馬-高槻構造線は、慶長地震の震源がある構造線であり、弾性波探査で横断方向も含めた調査

を行うこと。

○弾性波探査の結果を受けて、斜めボーリング等も考慮したボーリング位置の検討を専門家と進めていくこと。

○千里中央駅北側の重要構造物の直下を通過することから、千里中央駅北側の地質調査をやっておく必要がある。可能であれば補助工法無しでシールドを通過させたい。

○高架部分の基礎杭が長くなっている。地層の方向が既存資料と真逆になっているため弾性波探査を北側にも伸ばしておくこと。

○弾性波探査を実施した調査結果を構成員の方々に見ていただき、意見をお聞きして、ボーリングプランを策定すること。

○既存資料とこれからやろうとしている弾性波探査の調査結果をよく見比べていただくと良い地質資料が出来上がると思う。

以上